

(資料提供)

令和元年12月6日

県民文化スポーツ部文化振興課

直通：225-1371

内線：3855、3856

石川県立歴史博物館

直通：262-3417

講演会

「昭和・平成に活躍した漆芸家」

石川県金沢市に、日本海側初となる国立美術館が誕生します。

東京国立近代美術館工芸館は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催時期を目標に、開館する予定です。

この開館に向けての気運を醸成するため、H28年度から、石川県立美術館におきまして、東京国立近代美術館工芸館名品展を開催しております。今年度は、本県が全国に誇り、数多くの著名な作家を輩出してきた「漆工」の分野を中心に、「木工」・「竹工」も含めた分野から、日本の近現代工芸を代表する人間国宝や芸術院会員の名品を紹介しています。

今回は、本名品展を県民の皆様により楽しんでいただくために、漆の人間国宝であり、東京藝術大学名誉教授である増村紀一郎氏をお招きし、令和元年の締めくくりに、昭和・平成の漆芸家についてご講演いただきます。

また、講演会に先立ち、本県出身の演奏家である坂口昌優（まゆ）氏らによる、漆塗りの弦楽器を用いた弦楽四重奏も開催いたします。

日 時 令和元年12月8日（日） 13時30分～ [開場13時]

会 場 石川県立歴史博物館 ワークショップルーム

講 師 増村紀一郎氏（重要無形文化財「髹漆」保持者・東京藝術大学名誉教授）

演奏者 坂口昌優氏（ヴァイオリン）、渋谷優花氏（ヴァイオリン）、
般若佳子氏（ヴィオラ）、福野桂子氏（チェロ）

プログラム（予定）

13:00 開場・受付開始

13:30 ミュージアムコンサート開演

1. 「ディヴェルティメント K.136 より 第1楽章」

2. 「利家とまつ」

3. 「ジュピター」

4. 「弦楽四重奏曲「アメリカ」より 第1楽章」

14:00 講演会「昭和・平成に活躍した漆芸家」

15:00 終了予定

東京国立近代美術館工芸館移転連携事業
講演会&ミュージアムコンサート

TOKYO 2020
文化
オリンピックアード



昭和・平成に 活躍した漆芸家

令和元年

とき

12月8日 日 13:30~15:00
(開場13:00)

ところ

石川県立歴史博物館 ワークショップルーム
(金沢市出羽町3-1)

参加費
無料

定員：60名(応募者多数の場合は抽選)
応募方法：往復はがきに住所・氏名・電話番号・応募人数を記載して下記まで(はがき1通につき2名まで応募可)
〒920-8580 (住所不要)石川県文化振興課「イベント」係あて
締切：11月22日(金)必着



講演会

「昭和・平成に活躍した漆芸家」

増村 紀一郎 氏 (重要無形文化財「^{きゅうしつ}髹漆」保持者、東京藝術大学名誉教授)

漆の技法のひとつである^{きゅうしつ}髹漆の重要無形文化財保持者(人間国宝)であり、東京藝術大学名誉教授でもある増村紀一郎氏が、令和元年の締めくくりに、昭和・平成の漆芸家について振り返ります。



坂口 昌優 氏
(ヴァイオリン)



渋谷 優花 氏
(ヴァイオリン)



般若 佳子 氏
(ヴィオラ)



福野 桂子 氏
(チェロ)

ミュージアム コンサート

「漆」の講演会へといざなう、ヴァイオリンをはじめとした漆塗りの弦楽器による弦楽四重奏をお楽しみください。



県立美術館にて開催 11月22日(金)~12月22日(日)

東京国立近代美術館工芸館名品展「漆・木・竹工芸のみかた」

東京国立近代美術館工芸館のコレクションを紹介します。今年は、本県が全国に誇り、数多くの著名な作家を輩出してきた漆工をはじめ、木工・竹工作品を含む、約50点を展示します。

田口善国(日蝕詩絵飾箱)1963年 東京国立近代美術館蔵

講演会&ミュージアムコンサート

昭和・平成に活躍した漆芸家

令和元年

とき **12月8日**
13:30~15:00 (13:00開場)

ところ **石川県立歴史博物館 ワークショップルーム**
(金沢市出羽町3-1)

出演者プロフィール



講師 **増村 紀一郎 氏**
(重要無形文化財「髹漆」保持者)
東京藝術大学名誉教授

講演会「昭和・平成に活躍した漆芸家」

【講師略歴】

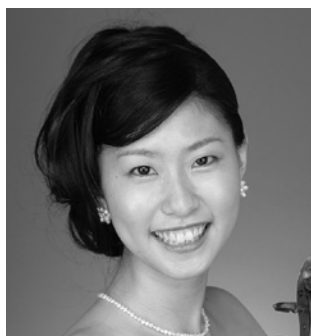
- 1941年 漆芸家・増村益城(重要無形文化財保持者)の長男として生まれる
- 1969年 東京藝術大学大学院美術研究科漆芸専攻修了
- 1981年 「第28回日本伝統工芸展」の《乾漆輪花朱漆鉢》にて朝日新聞社賞 受賞
- 1993年 「塗りの系譜展」(東京国立近代美術館工芸館)に招待出品
- 1995年 「ジャパニーズ・スタジオ・クラフツ展」(ヴィクトリア&アルバート・ミュージアム)に招待出品一同作品、同美術館買い上げ
- 1998年 宮内庁正倉院宝物《漆皮御袈裟箱》復元作成
- 2002年 紫綬褒章 受賞
東京藝術大学大学美術館長(09年3月まで)
- 2007年 「わざの美・日本の伝統工芸展」(大英博物館)に招待出品
- 2008年 第16回MOA美術館岡田茂吉大賞 受賞
重要無形文化財保持者に認定される
- 2012年 瑞宝中綬章 受賞
- 2018年 「世界の漆芸家たち展」(ラックンスト美術館、ドイツ)に出品
- 2018~19年 「URUSHI 伝統と革新展」(石川県立美術館・そごう美術館・MOA美術館)に出品

ミュージアムコンサート



さか ぐち ま ゆ **坂口 昌優 氏**
(ヴァイオリン)

桐朋学園大学卒業、同大学院修了。ブリュッセル王立音楽院に学ぶ。第14回アルベルト・クルチ国際コンクール第2位。ソリストとしてオーケストラとの共演多数。石川県ジュニアオーケストラなどで後進の指導にもあたる。(一財)地域創造公共ホール音楽活性化事業登録アーティストとして各地で演奏活動を行っている。



しぶ や ゆ か **渋谷 優花 氏**
(ヴァイオリン)

桐朋学園大学卒業、同大学院修了。小澤真琴、上島淳子、久保良治、藤原浜雄の各氏に師事。ソリストとして秋山和慶氏/桐朋アカデミーオーケストラ、ミツ橋敬子氏/日本センチュリー交響楽団、海老原光氏/東京交響楽団との共演やリサイタルの開催など、積極的に演奏活動を行うほか、後進の指導にもあたる。



はん にゃ よ し こ **般若 佳子 氏**
(ヴィオラ)

桐朋学園大学を卒業。フランクフルト音楽・舞台芸術大学、ブリュッセル王立音楽院に学ぶ。在学中よりヨーロッパを拠点に活発な演奏活動を行う。2005年の帰国後も紀尾井シンフォニエッタ、アンサンブルノマドへの客演など国内にて多岐にわたる活動を展開。2018年まで「秋吉台の夏」等の音楽セミナーで講師を務めた。



ふくの けい こ **福野 桂子 氏**
(チェロ)

京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。プラハ国立芸術アカデミーにて研鑽。第12回京都芸術祭京都府知事賞受賞。1998年第3回ピパホールチェロコンクール第2位。99年第68回日本音楽コンクール入選。リサイタルや室内楽にて各地で活躍するほか、現在プロジェクトの運営、企画にも携わるなど活動の幅を広げている。

■お問い合わせ

「東京国立近代美術館工芸館名品展」等実行委員会(石川県文化振興 課内) 平日9:00~17:00 TEL:076-225-1371